

minokamo

2017年美濃加茂市10大ニュース

下米田地区まちづくり協議会発足

3月

3月12日、市内で5つ目となるまちづくり協議会が、下米田地区で発足しました。

同地区では、平成27年度から「下米田地区まちづくり活動準備会」を立ち上げ、「よなだを楽しむ会」「地域を盛り上げる仮面ヨナダー登録制度」など、地域を知り仲間をつくる活動を展開されてきました。



文化の森コレクション展

4月

市内在住の森俊郎さんから寄贈された歴史資料14点をもとに、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑と明智光秀の文書を中心に、資料紹介をしました。

特に、9月に三重大学の藤田達生教授が紹介した「土橋重治宛 明智光秀書状」は、テレビ番組や新聞等で取り上げられ、全国的な話題となりました。



加茂川排水機場ポンプ増設工事完成式

6月

坂祝町酒倉地内にある加茂川排水機場のポンプが3基から5基に増設され、この完成を記念した完成式が行われました。

豪雨などで木曽川の水位が上昇し、加茂川の自己流出の排水不良、さらに、木曽川の逆流越流により、平成22年と23年には加茂川が内水氾濫し、多大な浸水被害が発生しました。

今回、ポンプ2基が増設されたことで排水能力が強化し、浸水被害の軽減が期待されています。



若者委員会活動開始

9月

市にゆかりのある18～25歳の若者による若者委員会が活動を開始しました。

加茂高等学校定時制と美濃加茂中学高等学校の生徒を対象に主権者教育『票育』を開催し、まちの課題と解決策を高校生に提示し、模擬投票を行いました。生徒らは、自分の意見に近い政策の提案者を選出。選挙の仕組みや流れを体験しました。

同委員会は、来年2月の市への政策提言に向け、現在、さまざまな取り組みを行っています。



あい愛バスが再編運行を開始

10月

市コミュニティバスの「あい愛バス」が路線やダイヤ、車体を一新し、10月1日から再編運行を開始しました。大型バス1台と12人乗りのワゴン車7台が、市内各地区を回る8つの新路線を、1乗車100円(大人)で毎日運行しています。

地域のコミュニティづくりや安心安全の向上、健康増進、街なかのにぎわい創出、環境負荷の低減等への効果が期待されます。



太田宿中山道会館 入場者 100 万人達成

10月

10月6日、太田宿中山道会館の延べ入場者数が、2006年4月14日のオープン以来100万人を達成しました。

この日、100万人目の入場者となったオーストラリアから訪れていたサリーさんに、記念品が贈呈されました。



西田結惟選手 U19 ボートでアジアトップ

10月

10月11日～14日にシンガポールで開催された2017アジアジュニアボート選手権大会で、U19日本代表としてクォドルプルに出場した加茂高校3年生 西田結惟さんのチームが優勝しました。

また、加茂高校女子ボート部は、3月に行われた2017全国高等学校選抜大会、8月に行われた2017南東北インターハイにおいて、女子舵手付きクォドルプルで優勝しました。

東京2020オリンピックに向けて、今後、益々の活躍が期待されます。



山手小学校が文部科学大臣賞を受賞

10月

(一社)日本学校歯科医会が学校歯科保健への取り組みが優秀な学校を表彰する「全日本学校歯科保健優良表彰」で、山手小学校が文部科学大臣賞を受賞しました。

同校では、全校児童が一斉に歯磨きをする時間を設けるなど、歯と口の健康づくりを推進。福井俊道校長は「全国の小学校のモデルとなる取り組みができた」と喜びを語っていました。



第19回全国山羊サミットを美濃加茂市で開催

11月

11月4日～5日、市内で「第19回全国山羊サミット in ぎふ」が開催されました。全国から約300人が参加し、サミットでは、(有)FRUSICによる講演や人気絵本「あらしのよるに」の朗読などが行われました。

屋外会場となった日本昭和村では、実技講習や山羊乳をつかったキャラメルづくり、山羊カフェの出店などもあり、参加者は熱心に山羊に関する先進的な取り組みを学んでいました。



藤井市長 辞職

12月

12月14日、藤井浩人前市長が、一身上の都合により辞職されました。

多くの人に動揺とご心配をお掛けしていますが、どのような状況にあってもより良いまちづくりのため結果を出し続けていくことが市職員の使命です。市長不在の期間、職務代理者の副市長を中心に、市民サービス、福祉の向上に努め、市政停滞とならないよう一致団結して一生懸命頑張ります。

